

中山間地域をはじめとした島根の生活交通を考える プロジェクトチームの最終とりまとめについて

1. 概要

- 県内の地域生活交通の現状・課題を整理した上で、これらの課題への対応として、大きく3つの項目に分類し、関係者による幅広い意見交換を行い、課題の解決に向けた取組の方向性をとりまとめた。
 - ・ 公共交通の担い手確保に向けた取組
 - ・ 路線バスと自家用有償旅客運送との適切な役割分担
 - ・ 貴重な人材を最大限活用するための取組や事業継続に向けた取組
- 関係者間の共通認識のもと、今後の具体的な取組の検討・実施につなげる。

2. 課題の解決に向けた取組の方向性

(1) 公共交通の担い手確保に向けた取組

① 事業者には雇用されるプロの運転手の確保

- 事業者の積極的な取組を大前提として、業界（事業者）・行政が連携・協力して、運転手確保の取組を進める。
- 地域生活交通の維持・確保の観点から、事業者による積極的な処遇改善や人材育成などの取組により、運行費が増加する場合においても、行政がこれまで実施してきた運行費支援を基本として、行政が支える。

<検討・実施にあたっての留意事項>

- ・ 日ごろから業界（事業者）・行政などの関係者が意見交換できる関係性の構築
- ・ 事業者の運転手確保の状況などの積極的な情報発信
- ・ 国の運転手確保に向けた取組を踏まえた、取組の検討・実施

② 自家用有償旅客運送の運転手の確保

- 自家用有償旅客運送は、県内の地域生活交通を支える重要な役割を担っていることから、引き続き、運転手確保に向けて取り組む必要がある。

<検討・実施にあたっての留意事項>

- ・ 新たな委託先となる事業者や団体等の確保
- ・ 必要に応じて、ダイヤの見直しや新たな交通体系への転換等の実施
- ・ 大臣認定講習※の受講機会の増加

※ 自家用有償旅客運送の運転手は、二種免許を有する者、もしくは、一種免許を有する者で国土交通大臣が認定する講習を修了している者であることが必要

(2) 路線バスと自家用有償旅客運送との適切な役割分担

- 既存事業者と共存する形で、地域の実情に応じた効率的・効果的な交通体系を構築する必要がある。

<検討・実施にあたっての留意事項>

- ・ 見直し基準の設定により、見直し理由を明確化し、住民との円滑な合意形成を図ることを検討
- ・ 自家用有償旅客運送は、運行形態の自由度が高いため、既存のバス・タクシーと競合しないようなサービス水準・内容となるよう、事業者との十分な議論
- ・ 自家用有償旅客運送は、事業者が運行する路線バスに比べて、コストが高くなる場合があるため、サービス水準・内容とコストのバランスを考慮
- ・ 見直し後の利用方法を含めた、見直し状況の丁寧な情報発信
- ・ 国における制度改正などの情報収集

(3) 貴重な人材を最大限活用するための取組や事業継続に向けた取組

- スクールバスに一般の利用者が乗車する一般混乗や貨客混載といった他分野との連携、及び、運賃の月額定額制といった事業者における収入の安定化といった取組は、利用者のニーズ把握や事業者との調整を十分に行った上で、検討する必要がある。

<検討・実施にあたっての留意事項>

- ・ それぞれの分野のニーズや実態、メリット・デメリットの十分な把握
- ・ 試行錯誤を繰り返しての運用となるため、利用者や事業者との積極的に意見交換や、必要に応じた見直しの実施

3. 運転手確保に向けた取組における基本的な考え方

- 事業者の積極的な取組を前提に、今後、以下の考え方を基本として、運転手確保に向けた取組を検討・実施。

(1) 労働環境の改善

- ① 給与水準の改善…より積極的に給与水準の改善に取り組む
- ② 勤務条件の改善…求職者の間口を広げるための勤務条件の改善
- ③ 職場環境の改善…運転手として、だれもが働きやすく魅力的な職場環境への改善
- ④ 福利厚生への改善…若い世代や女性などの入職促進・離職防止のための福利厚生の改善

(2) 採用活動

- ① 業界の魅力発信…個社レベルだけでなく、業界全体としての魅力発信
- ② 事業者のノウハウの習得・実践
…最新の採用活動のノウハウ等を習得し、実践できる環境の整備

(3) 採用後の人材育成…人材の獲得・定着のための、より一層の人材育成